

共通教育科目(社会人入門分野)

平成24年度開講 就業力科目ガイド

平成24年度新規開講
始めよう！未来につながる第一歩。

共通教育科目として、新たに5科目が開講します。

就業力科目

平成24年度より新たに共通教育科目内で開講する就業力科目（5科目）は、社会から求められている「就業力」を高めるための科目です。

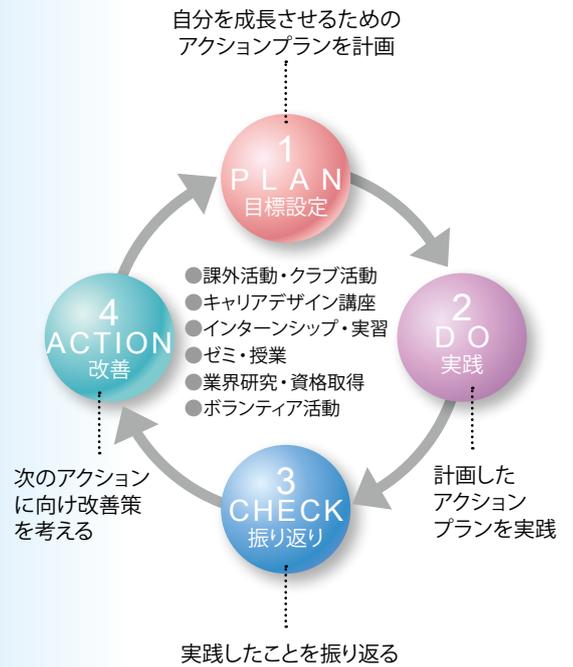
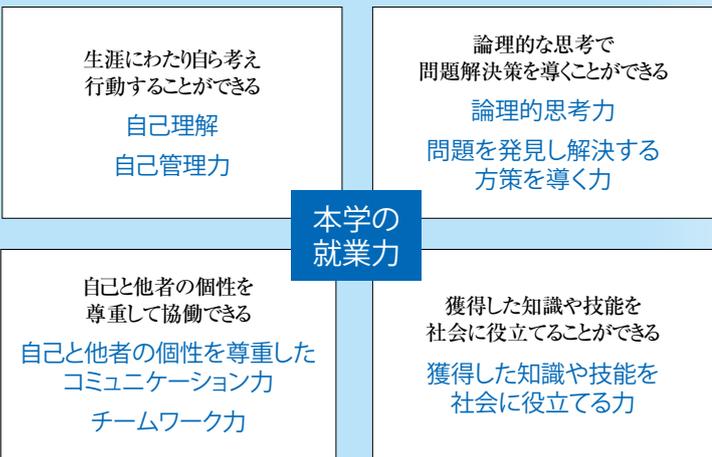
※就業力とは、どんな仕事（業界・職種）に就いたとしても、社会生活を送っていく上で必要とされる、いわゆる社会人としての基礎能力です。

★本学全ての在学生在が就業力を身につけられるように
共通教育科目として開講

就業力を高めることは、自身の土台作りになり、学部教育での更なるのびが期待できるでしょう。大学生活の中で、自らの将来の進路を見据えた目標を持ち、充実した大学生活を送るためにも受講してください。

本学が推し進める新設キャリア科目の進め方

学生一人一人が、自身の生き方を考える、人と関わる、問題・課題と関わる等、様々な場面で能力を発揮できるように、学生自身が、立てた目標（PLAN）を自ら実践（DO）し、振り返り（CHECK）の後に自ら改善（ACTION）を繰り返し行う中で、就業力を醸成し、なりたい自分への成長を促せるような授業を展開します。

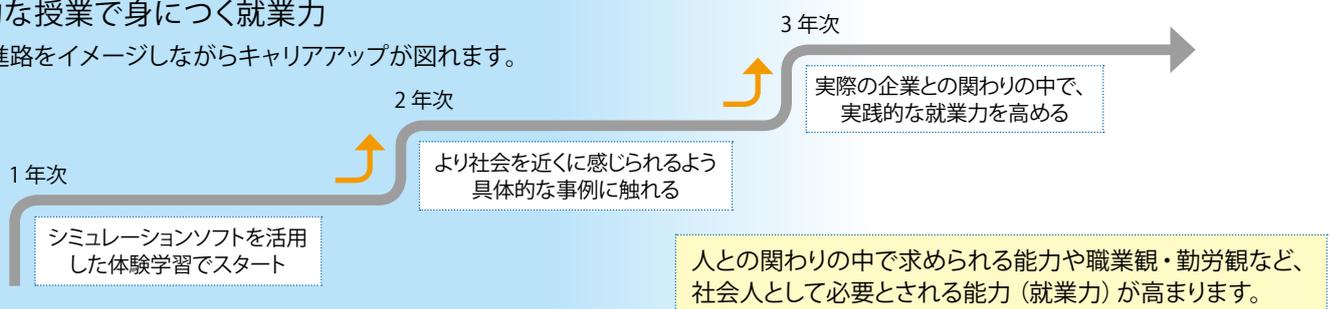


リテラシー科目群

	1年次	2年次	3年次
社会人入門分野	就業力講座Ⅰ	就業力講座Ⅱ 就業体験講座	就業力講座Ⅲ 産業界等連携講座
テーマ	体験学習で学ぶ 大学生活を充実させるために、 自ら考え行動することの重要性を学ぶ	具体的事例から学ぶ 将来の進路に向けて 目的意識を持ち行動できるようにする	実際の企業から学ぶ 企業等との関わりを通じて 実践的な就業力を高める

実践的な授業で身につく就業力

将来の進路をイメージしながらキャリアアップが図れます。



就業力講座 I

定員 150名

1年次のみ対象

※予備登録による事前申込要

■テキスト

マイキャリアノートI (エンカレッジ)

■提出課題

- ・出席カード (毎回) : 授業の内容、意見、質問について
- ・提出課題 (最終回) (キャリアデザインマップ)

大学生活は高校までとは違い、自分で動きださないと何も得られません。4年間の過ごし方をしっかり考えて、自分の将来の可能性を広げる大学生活をスタートさせましょう!

講義概要

大学では高校までと違い、与えられたことをこなすだけではなく、自分で考えて主体的に行動する姿勢・習慣が必要になります。主体的に行動するためには、自分で目標を設定し、その実現に向けた行動計画を立てられることが必要です。この講義では、みなさんの将来にとって価値のある充実した学生生活を送るために、自己理解を深め、社会への関心を高め、学生生活における目標と行動計画を設定します。

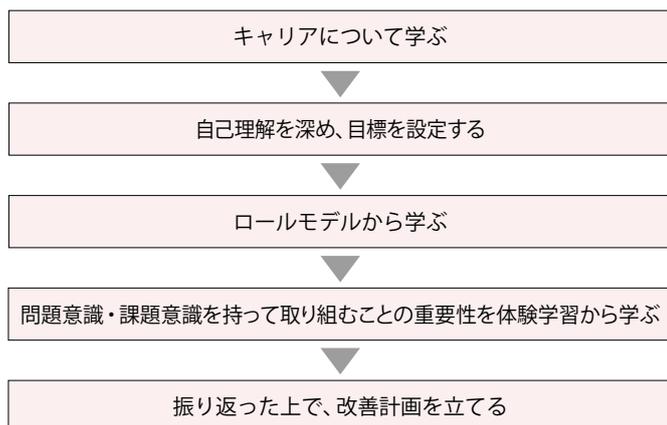
講義スケジュール (予定)

前期

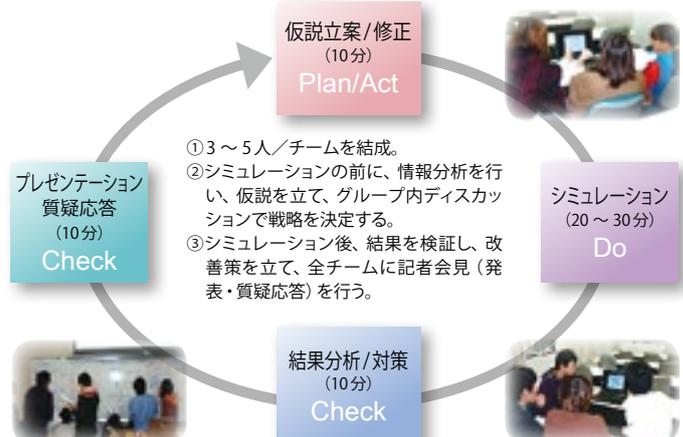
2単位

回数	主題	内容
1	高校生までと大学生の違い	大学生活では、答えはひとつではありません。自分の頭で考え、自分の言葉でそれを表現すればそれが正解になるからです。自分で考えることの大切さ、楽しさについて考えます。
2	世の中のことを考えよう	無関係に見えて、世界のさまざまなことは、あなたと深い関わりがあります。世の中を知り、自分との関係を考えます。
3	大学生活と自己責任	大学生活では、成り行きや他人の意見に任せるのではなく、自分で考え選択、決定することが大切です。その判断材料となる自分の価値観・行動規範について考えます。
4	自分を伝える難しさ	自分のことを伝えるためには自分のことを理解しておかなくてはなりません。自分をつかむことと、それを表現する難しさを学習します。
5	目標の力	目標を持てば生活がいきいきと締まってきます。また目標に向かっていくという気持ちは、自信につながり、充実した時間をもたらします。大学生活における目標を考えてみましょう。
6・7	ロールモデルから学ぶ	就職活動を終えた先輩や、卒業している先輩のお話を聞き、社会とはどんなところなのか、考えてみましょう。
8～10	体験学習	コンビニ経営体験ゲーム
11	コミュニケーションの意味	人に正確に情報を伝えるのは難しいことです。コミュニケーションの構造と、「送り手」「受け手」双方の役割を知り、自分の考えが、どのようにすればうまく相手に伝わるかを考えます。
12	ディスカッションの心構え	ディスカッションを実りあるものにするには、その構造と心構えを知っておく必要があります。また、それらを知ることとは「論理的思考」を学ぶことにも通じます。
13	自己概念とキャリアマインド	これまでに自分について、あるいは世の中について学んできました。「自分をもっと知りたい」「世の中をもっと知りたい」という思いから生まれる、キャリアマインドについて学習します。
14	目標実現までのプロセス	目標を実現するには行動を起こさなければなりません。行動すれば、失敗もします。失敗したとき、それをどうとらえるかが重要です。失敗と目標実現の関係を学びます。
15	キャリアデザインマップ作成	社会と積極的に関わりながら、具体的な目標を持ち、その実現方法を考えて、行動するための計画書「キャリアデザインマップ」を作成します。

授業の流れ



体験学習イメージ



就業力講座 II

定員 150名

2年次のみ対象

※予備登録による事前申込要

■テキスト

マイキャリアノートI (アドバンス)

■提出課題

- ・出席カード (毎回) : 授業の内容、意見、質問について
- ・提出課題 (最終回) (キャリアデザインマップ)

2年生は大学生活にも慣れ、まだ就職活動も始まらないので一番やりたいことができる時期です。

ただし時間に余裕がある分、目的意識がないと中だるみしてしまうこともあります。

貴重な時間を無駄に過ごさず、将来に向けていま自分は何をすべきか考えます。

講義概要

計画を立てたあと、もっとも重要なのは行動することです。すべてが計画通りに行くことはほとんどなく、多くの場合、節目での計画の見直しが必要と求められます。この講義でこれまでの学生生活を振り返って、目標と行動計画を見直します。そのために、これまでの学生生活の取組みを振り返り整理します。また、将来を具体的にイメージするために、業界や職種について理解し、プレゼンも含めたコミュニケーションの訓練も行います。

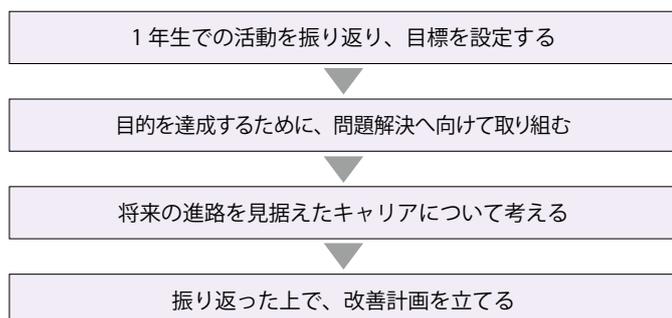
講義スケジュール (予定)

前期

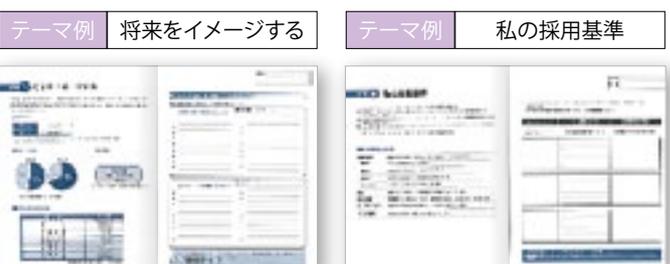
2単位

回数	主題	内容
1	キャリアデザインって何だろう	大学生活が自分の将来にどんな意味を持つのか。それは自分がどのように大学生活を送るにかかっています。まずはこれまでの学生生活を振り返ることから始めましょう。
2	自分について考えよう	社会では自分で答えを見つけなければいけません。しっかり自分を知って、自分らしい答えを見つけましょう。自分の周囲の人たちに尋ねたり、自分の過去を振り返って、自分とは何か考えます。
3	あなたの強みは?	社会では自分の強みを発揮することが求められます。積極的に行動し、場数を踏んで自分の強みを発揮する体験を積み重ねましょう。そのためにも自分の強みは何なのかを考えます。
4	社会で生きる	将来社会に出ることについてどんなイメージを持っていますか。おそらくまだ漠然としているでしょう。いま感じていることを書き出し、社会のイメージをふくらませます。
5	私の採用基準	社会ではどんな力をもった人が求められるのでしょうか。もし、自分が学生を採用する会社の社長や人事部長だったら、どんな学生がほしいか、考えてみましょう。
6	私が伸ばす力	自分の持っている力のうち、社会から求められるものとそうでないものは何でしょうか。それを整理し、これから自分が伸ばすべき力は何なのか考えます。
7	コミュニケーション能力を鍛えよう	コミュニケーション能力は普段の生活で養われるものです。コミュニケーション能力はどのような要素で成り立っているか知り、自分のコミュニケーション能力について考えます。
8	コミュニケーション能力を鍛えよう	自分の思ったことを言いたいようにいっただけでは、相手には伝わりません。相手に効果的に伝えるための話の構成や表現力をトレーニングします。
9	業界・業種について考えよう	社会は様々な業界・業種によって成り立っています。業界・業種について知ることで、広い視野で仕事を選ぶことができます。どんな業界があるのか、あるいは世の中のトレンドについて学びます。
10	職種・資格について考えよう	社会の仕事は大きく「作る」「売る」「管理する」の3つに分けることができます。職種について理解を深め、どんな仕事が自分に向いているのか考えます。
11	社会と学問の関係は?	大学で学んでいることは社会とどのようにつながっているのでしょうか。テレビや新聞などのニュースからキーワードを抜き出し、授業との関わりを考えます。
12	「学び」の意味を考えよう!	学問の進め方と仕事のプロセスは似ています。学問をすることで社会で必要となる力が身につきます。自分の目標と大学での学びがどのように結びついているのか考えましょう。
13	私のキャリアデザインマップ	少し高めめの目標を設定し、そのために必要な実行計画を立てます。作成して終わりではなく、いかに計画内容を継続的に実行するかについて考えます。
14	仲間と情報交換しよう	目標に向けた計画を実行するためには、利用できるものは有効に利用する必要があります。神戸学院大学にどんな施設や機会があるか、仲間どうしてディスカッションして共有します。
15	目標に向かってチャレンジしよう!	計画はあくまで仮説であり、すべて計画どおりにいくとは限りません。節目で実行状況を検証し、臨機応変に修正することが重要です。仮説→検証を行う方法を学びます。

授業の流れ



ケーススタディイメージ



仕事、プライベートで実現したいことを書きだし、それぞれいくらくらいお金や時間がかかるか考えます。

あなたが会社の社長なら、どんな人を採用したいか考えましょう。

KAC /KPC 開講 就業力講座 III

定員 40名

3年次以上対象

※予備登録による事前申込要

■テキスト

講師が作成した教材を適宜配布

■提出課題

- ・中間レポートの作成
- ・企業への提案及び報告書（グループ単位）
- ・期末レポート

これからのビジネス社会で最も必要になる力は、自ら情報を収集し、不完全な情報のもとにおいても自分の頭で考える力（発想と論理的思考力）と、考えたことを人に伝え、納得させるコミュニケーション力（議論しプレゼンテーションする力）です。この授業を通じて、就職後も役に立つ一生モノの力を身につけましょう。

講義概要

企業が事業や CSR（企業の社会的責任）に関する諸活動において抱えている課題の解決策についてグループでのワークを行います。課題解決に向けた企画を作成・提案し、企業から評価を直接受けることを通じて、実践的な就業力を高めます。

次の2点を目標とします。

- ①企業とは何かを理解すること
- ②社会人として求められる基礎的な能力を身につけること

講義スケジュール（予定）

前期

2単位

回数	主題	内容
1	オリエンテーション	コースの目的、カリキュラムの内容と進め方、講師がこれまでビジネスの世界でやってきたことを紹介しながら、仕事をするとどういふことなのかについて考えてもらい、本講座のウォーミングアップとします。
2	チームビルディング	ワークのためのグループ分けをします。グループ内でメンバーを理解すること、グループワークの際の注意点、グループとしての取り組みルール宣言などを通じて、チームビルディング（チーム作り）をします。
3	企業研究の方法	企業研究をする方法を学びます。いろいろな視点から企業を見るコツを身につけます。そして、担当する企業を決めて、自分なりに調べてくることを宿題とします
4	企業研究の発表	宿題として調べてきたことを持ち寄り、各グループが企業の概要を発表します。
5	企業からの課題提示	協力企業（複数）の方々に越しいただき、課題を提示していただきます。各企業・担当グループに分かれて Q&A を行い、取り組むべき課題に対する理解を深めます。
6	プロジェクトの進め方	プロジェクトマネジメントの基本を学び、グループワークの段取りをします。
7・8	プレゼン資料作成	中間報告に向けて、プレゼン資料を作成します。
9	中間発表と講評	中間発表をし、相互講評、講師からの講評を踏まえ、最終発表に向けた改善点を明らかにします。中間レポートの課題を発表します。
10	改善課題確認と段取り	最終回に向けた改善課題を確認し、作業段取りをします。
11・12	プレゼン資料作成	企業を迎えた発表会に向け、プレゼン資料を作成します。
13	発表	企業に来学願い、検討結果を発表をし、講評をいただきます。
14	振り返りと報告書作成	各グループで、ワークを振り返り、報告書を作成します。
15	報告書と総括	報告書に基づいて各グループが報告をし、講座全体を振り返り、総括します。

講義の流れ

チームワークを意識する グループ相互理解・事前準備

企業等の関わりの中で、実践力を高める 企業等との打合せ企画立案・資料作成

体験とまとめ、報告書を作る 企画発表・振り返り総括

講義内容

この科目は、ナマの企業の課題に対し、計画を立て、情報を集め、考え、議論し、企画をまとめるという流れで進めていきます。受け身ではなく、積極的に取り組むことで、修了時には、考える力とコミュニケーション力が格段に進歩します。

講義形式

2時限連続・隔週

参加企業について

企業名	開講キャンパス	業種	所在地
(株)神戸ポートピアホテル	KPC	サービス	神戸市中央区湊島中町
(株)JTБ 西日本	KPC	サービス	大阪市中央区南久宝寺
(株)ロック・フィールド	KPC	流通	神戸市東灘区魚崎北町
(株)みなと銀行	KPC	金融	神戸市中央区三宮町
日工(株)	KAC	製造	明石市大久保町江井島
大和製衡(株)	KAC	製造	明石市茶園場町
シバタ工業(株)	KAC	製造	明石市魚住町中尾
日新信用金庫	KAC	金融	明石市本町

その他

出来るだけ、ノートパソコンを持参してください。

KAC開講 就業体験講座

定員 50名

2年次以上対象

※予備登録による事前申込要

■テキスト

プリント等を適宜配布

■提出課題

- ・各種学内イベントへの参加（合計30時間）
- ・報告書（レポート）提出

キャンパスを社会の場と捉え、人間力育成のために
さまざまな学内イベントへ参加します。

就労体験を通じて、ビジネスマナーや社会の仕組みを理解し、
各種イベントの企画・運営等に参加していくことで
実践力をたかめます。

講義概要

学内の様々な部署での就業体験を通じ、具体的にその業務を知り、就業
体験から多くの情報を得て考えることを目的とします。単位取得には各種
イベントに参加することを条件としますので、イベント開催時期により授
業計画は一部不特定となります。単位取得に必要なポイント数（時間数）
は、基本30ポイントとします。

講義スケジュール（予定）

通年

1単位

回数	主題	内容
1	オリエンテーション	プログラム全体の流れ、各イベント内容の説明
2	現状認識・目標設定	参加イベント決定。取組目標を立てる。
3	グループ相互理解	チームでの活動について・役割分担
4～14	学内イベント	各種学内イベント参加（事前準備、企画・立案、当日運営等）
15	報告会・総括	グループごとにまとめた内容の発表とプロジェクト全体の総括。就職活動に向けた過ごし方について考える。

講義の流れ

第1～3回

チームワーク ・ 現状認識・目標設定・グループ相互理解

第4～14回

学内イベント参加 学内にて就業体験（合計30時間）

第15回

報告会 ・ 振り返り、報告会総括

学内イベントについて（参考）

参加部署	活動イベント	実施時期	ポイント数（時間数）
学生支援グループ	東日本大震災ボランティア	4-11月	30
入学事務グループ	オープンキャンパス	6-8月	10
図書館事務グループ	ライブラリーツアー 情報探索講座	4-11月	10



ボランティアバス



オープンキャンパス①



オープンキャンパス②



図書館

KAC/KPC開講(遠隔) 産業界等連携講座

定員 200名

3年次以上対象

※予備登録による事前申込要

- テキスト
プリント等を適宜配布
- 提出課題
・レポート

企業等で活躍する方から生の声を聞き、
実際の企業活動を学ぶことで、職業について考え、
社会への理解を深め、今後の就職活動に向けて
準備を行う機会にします。

講義概要

外部講師として社会で活躍する方を講師として招き、社会人としての立場から、その企業・業界等の現状や、仕事で得たもの、仕事への取組姿勢等について講演いただくことで、職業についての理解を深めるとともに、今後の行動計画や、就職活動を踏まえ、どのように過ごしていくのかを考えます。

講義スケジュール(予定)

前期

2単位

回数	主題	内容
1	オリエンテーション	導入としてプログラム全体の流れについて理解する。
2	働くことについて	卒業後の社会人生活への意識を高めるため、企業等における人・物・課題との関わりを考える。次回以降の受講上の注意点および、どのような視点で取り組むのか理解を深める。
3～13	企業等からの講師講演	業態・職種における働く上での視点の違いへの理解を深め、職業観、勤労観を醸成する。
14	振り返り	今後の行動計画をまとめ、レポートを作成する。
15	総括	これからの就職活動を踏まえ、今後の過ごし方を考える。

講義の流れ

卒業後を意識する 働くこと・企業について知る

視点の違いを知り、職業観、勤労観を高める 企業人から学ぶ

総括(まとめ) 振り返り レポート作成

講義内容

- 業界・業種の紹介
- 社会人としての成功体験の道のり
- 社会人としての失敗談
- 学生時代の活動経歴・思い出
- 就職活動の体験
- 社会人として後輩に伝えておきたい思い
- その他

参加企業について(2012年度予定)

※順不同

企業名	業種	所在地
神戸商工会議所		神戸市中央区港島中町
シスメックス(株)	製造	神戸市中央区脇浜海岸通
ユーシーシーホールディングス(株)	製造	神戸市中央区港島中町
(株)ジャヴァホールディングス	サービス	神戸市中央区港島中町
(株)上組	流通	神戸市中央区浜辺通
(株)三井住友銀行	金融	大阪市中央区北浜
(株)みなと銀行	金融	神戸市中央区三宮町
(株)トーホービジネスサービス	卸売業	神戸市東灘区向洋町西
(株)さくらケーシーエス	IT	神戸市中央区播磨町
神戸市	行政	神戸市中央区加納町
明石市	行政	明石市中崎

履修について

学部ごとの授業配当について

科目名(学期)	対象学部					受講対象年次	履修上の注意
	法	経済	経営	栄養	総合リハビリテーション		
就業力講座Ⅰ(前期)	●	●	●	●	履修対象ではありません	1年次のみ	受講人数制限科目のため、事前申込が必要
就業力講座Ⅱ(前期)	●	●	●	●	履修対象ではありません	2年次のみ	
就業力講座Ⅲ(前期)※1	●	●	●	●	●	3年次以上	
就業体験講座(通年)	●	●	●	●	履修対象ではありません	2年次以上	
産業界等連携講座(前期)※1	●	●	●	●	●	3年次以上	

※1 法学部・経済学部・経営学部の方は、予備登録の際、KPC・KACいずれかのキャンパスを選択してください。

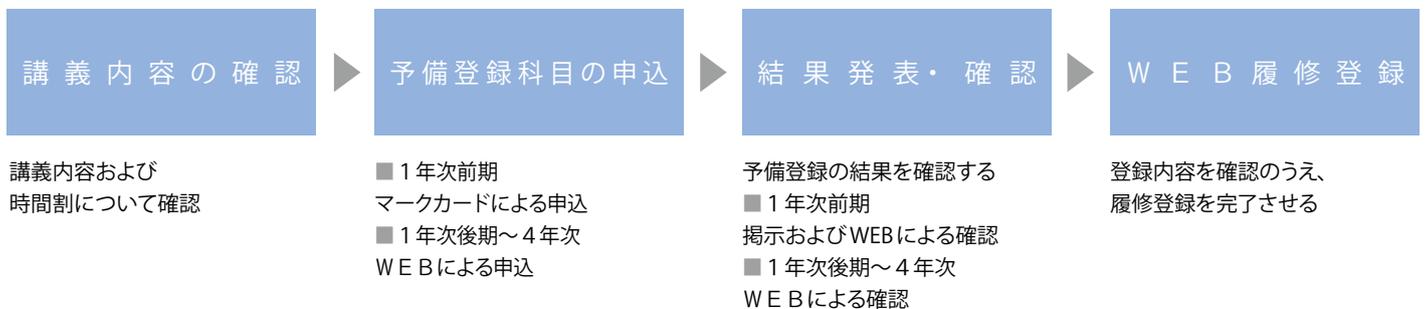
◆今年度、人文学部・薬学部については、上記5科目いずれも履修対象ではありません。

履修登録の流れについて

◆キャリア関連科目はすべて受講人数に制限があります。

受講希望者は予め申込をして、受講の許可を受けて履修登録してください。

時間割を確認のうえ、申し込んでください。



※予備登録の結果、受講許可を受けた科目については、必ず、第1回目の授業から出席してください。

履修登録の日程等詳細については、『履修の手引き』『CAMPUS』で確認してください。